



↑ 図1 基本形



↑ 図2



↑ 図3. 左側2列の扱いが難しい

図1を元にセカンドの方向性などに関して考えてみる。
 ネクストが[緑/緑]、ネクネクが[緑/青]として、6連鎖以上作ることを目的に。
 この配置の場合考えられる方向性としては幾つかありますが・・・

- ① セカンドは高く作る。
- ② 連鎖の方向性を変に難しくしすぎない。
- ③ 千切りは適度に
- ④ ゴミぷよは適当に連結させる。

この4つの点を意識して色々と考えてみようと思います。

まず一番やってしまいがちなのは、図2のような方向性を無理やり上を持っていく形。黄色にクッションを使い底上げできているため、言うほどは悪くないかもしれませんが、この時点で連鎖の流れを確定してしまうのは尚早なのでは?とも考えられます。色拘束が強くなってしまいうため死にぷよが多く発生する原因になり得ます。

ネクネク以降に[黄/黄][紫と何か]のようにその後の展開が見えているのであるならば有効手ではありますが、それでも伸ばす際に全回収を目指すことは難しくなってしまいます。(ダブルになりがち)

セカンドを考察する際、死にぷよが発生しない連鎖の手順に着目していくことは重要です。

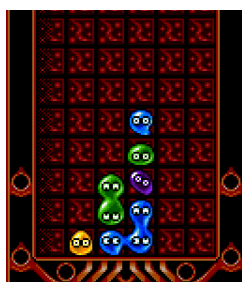
図4は緑を立てることによって左からも右からも発火を狙うことができます。その後に来る配色によって様々な形に変化させることができます。

図5は5列目青を発火点として、その後の展開によって黄色か緑の2種類の流れに持って行くことができます。狙いによっては紫を発火点にした場合、青が偏った場合青から繋げていくことも考えることができます。

形に困った場合は段差ズレによる連鎖尾を作り上げていくスタイルにしていくのが強いと思われます。連鎖尾が得意なら図6のように展開していくのもいいかと思われます。



↑ 図4



↑ 図5



図6



図7 ネット